

2023 年度の研究業績

豊橋総合動植物公園では様々な研究機関と協力し、調査・研究を行っています。

下記に 2023 年度の研究業績をまとめました。

※下線のついた氏名が豊橋総合動植物公園職員

■論文

○米田 弘樹, 櫻庭 陽子, 山梨 裕美, 松岡 賢司, 黒田 恭子, 島田 かなえ, 荒蒔 祐輔, 瀬尾 亮太. (2023). 単独飼育解消を目指したアジアゾウの同居の取組と社会関係の形成. *動物の行動と管理学会誌*, 59(1), 8-15.

○加藤 雅彦, 伴 和幸. (2023). 一動物園において給餌される一般飼料および野生動物のと体の細菌数調査. *日本野生動物医学会誌*, 28(2), 129-134.

○武田 源一郎, 松田 一哉, 遠井 朗子, 伴 和幸, 高見 一利, 細谷 忠嗣, 浅川 満彦. (2024). 有害捕獲獣を北海道の動物園で屠体給餌する際に留意すべき感染症とその対策—特に寄生虫病を想定した事例について. *酪農学園大学紀要*, 42(2), 203-215.

■発表

○伴 和幸. 捕獲個体を用いた屠体給餌の成果と課題 ～動物園の現場から～. ワークショップ 北海道における捕獲された野生動物を用いた屠体給餌の可能性. 口頭発表. 2023.

○木谷 良平. シンガポール動物園調停式の講演会. 動物園ができること～これからの動物園を考える～. 口頭発表. 2023.

○杉浦 直樹. ボリビアリスザル人工哺育個体の群入り事例. 第 124 回中部ブロック飼育技術者研修会. 口頭発表. 2023.

○櫻庭 陽子, 伴 和幸. iPS 細胞は動物園に何をもたらす?～動物園で研究することの課題～. 第 39 回日本霊長類学会自由集会. 口頭発表. 2023.

○小林 優衣菜, 八代 梓, 藤井 太一, 森山 昭彦. 飼育環境がオランウータンの毛引き行動に及ぼす影響について. 動物の行動と管理学会 2023 年度研究発表会. ポスター発表. 2023.

○福山 沙希, 小針 大助. 暑熱環境が飼育下のアジアゾウの活動に及ぼす影響. 動物の行動と管理学会 2023 年度研究発表会. 口頭発表. 2023.

○野上 大史, 藤本 貴久, 比江島 拓己, 小野 礼, 伴 和幸, D.S.V. Bandara, 荒田 純平. 動物を対象とした非装着脈拍計測システムの開発. 2023 年度精密工学会秋季大会. 口頭発表. 2023.

○高御堂 裕紀. アカモズ生息域外保全進捗報告. 令和 5 年度アカモズ保全事業実施結果報告. 口

頭発表. 2023.

○八代 梓. 豊橋総合動植物公園における国際オランウータンデーの取り組みについて. 第25回アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い. ポスター発表. 2023.

○宮川 喜仲. 愛知県渥美半島に生息するヤマトサンショウウオの調査・保全の取り組み. 第23回日本動物園水族館協会種保存会議. ポスター発表. 2023.

○中山 侑, 伴 和幸, 牛田 一成. と体の栄養成分. 第23回日本動物園水族館協会種保存会議. ポスター発表. 2023.

○高見 一利. 国内外の状況に基づく今後の飼育下個体群管理. 第23回日本動物園水族館協会種保存会議. 口頭発表. 2023.

○Kazutoshi Takami. Panel - Supporting Emerging Leaders. 78th WAZA Annual Conference. 口頭発表. 2023.

○Kazutoshi Takami. Population Management by JAZA (Japanese Association of Zoos and Aquariums). 78th WAZA Annual Conference. 口頭発表. 2023.

○伴 和幸, 加藤 雅彦. と体は衛生的と言えるのか? ~細菌数を調べてみた~. 第4回屠体給餌プロジェクト報告会. 口頭発表. 2023.

○高御堂 裕紀. アカモズの域外保全について. 令和5年度第1回オガサワラカワラヒワ検討会. 口頭発表. 2023.

○長屋 篤. 近隣の学校と連携した教育プログラムについて. 第125回中部ブロック飼育技術者研修会. 口頭発表. 2023.

○白井 雅之, 萩原 孝泰, 榎本 諒太, 伊藤 雅人, 福山 沙希, 木谷 良平. 飼育環境の違いによるマスト期発現前のアジアゾウの行動変化. 第32回ゾウ会議. 口頭発表. 2023.

○木谷 良平, 石尾 雪乃, 伴 和幸, 櫻庭 陽子, 萩原 孝泰, 白井 雅之, 榎本 諒太, 伊藤 雅人, 福山 沙希. 体験型旅行企画イベントとしての環境エンリッチメントの実施例. 第32回ゾウ会議. ポスター発表. 2023.

○細谷 忠嗣, 御田 成顕, 伴 和幸, 田川 一希, 松本 朱実. 野生動物を用いた屠体給餌を教材とした獣害問題と動物福祉を組み合わせた環境教育プログラム: 大学生5集団の比較. 第28回「野生動物と社会」学会大会. ポスター発表. 2023.

○伴 和幸, 今村 公紀. 豊橋から始まる動物園×生命科学のイノベーション ~動物園の研究事情と豊橋総合動植物公園の挑戦~. 超異分野学会 豊橋フォーラム2023. ポスター発表. 2023.

○太木 崇裕, 奥野 浩史, 飯田 理穂, 伴 和幸. 実践ワークショップにおけるゴマフアザラシの環境エンリッチメントの一例. 第49回海獣技術者研究会. 口頭発表. 2023.

○高御堂 裕紀. アカモズ生息域外保全進捗報告. 令和5年度アカモズ生息域外保全の取り組み成果および令和6年度計画. 口頭発表. 2024.

○瀧本 嵐丸. アカモズ域外保全（人工孵化等）の取り組み. 令和5年度アカモズ保全に関する状況報告会. 口頭発表. 2024.

○伴 和幸, 野上 大史, 今村 和孝, 越智 亮太, 宗平 将幸. 扉操作時の安全行動を支援するボタン誘導システムの開発. 第71回動物園技術者研究会. ポスター発表. 2024.

○八代 梓, 高御堂 裕紀, 石尾 雪乃, 瀧本 嵐丸, 木谷 良平, 高見 一利, 赤松 あかり, 原 星一, 米山 富和, 平松 感大, 喜多村 珠妃, 根本 宋一郎, 松山 陽子, 松宮 裕秋, 岡久 雄二. 世界初となる亜種アカモズの人工孵卵と人工育雛について. 第71回動物園技術者研究会. 口頭発表. 2024.

○山本 葵. 仔キリンの危険事例と対策. 第11回キリン研究会. 口頭発表. 2024.

○石尾 雪乃, 高御堂 裕紀, 八代 梓, 瀧本 嵐丸, 井上 康子, 木谷 良平, 高見 一利, 行本 帆花, 倉田 希, 國枝 凜, 間宮 ふうか, 岡久 雄二. 絶滅危惧種アカモズに関する大学との連携イベントについて. 第64回日本動物園水族館教育研究会. 口頭発表. 2024.

○石尾 雪乃, 高御堂 裕紀, 八代 梓, 瀧本 嵐丸, 井上 康子, 木谷 良平, 高見 一利, 赤松 あかり, 原 星一, 米山 富和, 松山 陽子, 松宮 裕秋, 平松 感大, 喜多村 珠妃, 根本 宗一郎, 行本 帆花, 倉田 希, 國枝 凜, 間宮 ふうか, 岡久 雄二. 世界初となる亜種アカモズの人工孵化・育雛について. 第31回日本飼育技術学会. 口頭発表. 2024.

○伴 和幸. なぜ捕獲された野生動物を餌にするのか?. 日本の動物園・水族館を根本から見つめ、見直す連続講座. 口頭発表. 2024.

○伴 和幸, 今村 公紀. 豊橋から始まる動物園×生命科学のイノベーション ～動物園の研究事情と豊橋総合動植物公園の挑戦～. 超異分野学会2024 東京・関東大会. ポスター発表. 2024.

■刊行物

○高見一利. 2023. 動物園・水族館学. コアカリ野生動物学第2版（日本野生動物医学会 編） pp. 168-181. 文永堂出版.

○櫻庭 陽子. 2023. 障害をもった個体の福祉. 霊長類学の百科事典（日本霊長類学会 編） pp. 584-585. 丸善出版.

○橋本 直子, 伴 和幸. 2023. 訓練（トレーニング）. 霊長類学の百科事典（日本霊長類学会 編） pp. 544-547. 丸善出版.

○伴 和幸. 2023. 動物園での「狩り」を考える. Civil Engineering Consultant (301). 建設コン

サルタンツ協会. pp. 20-23.

○高御堂 裕紀. 2023. アカモズ生息域外保全のスタート 世界初人工育雛の成功. どうぶつと動物園(733). 公益財団法人 東京動物園協会. pp. 41.